

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>大津市家庭教育支援チーム</u> (呼称: 逢坂 Smile 家庭教育支援チーム)
②活動拠点	逢坂公民館・マンション内パーティールーム・レストランカレンダー
③活動範囲	逢坂小学校区
④組織体制	<u>20 人</u> 身近な子育て経験者、元教員、保育士、地域の保健師、助産師、看護師、歯科医、歯科衛生士、大津市社会教育委員、保護司、更生女性会員、健康推進員
⑤活動開始年度	<u>2020年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 殿城 弘子 (TEL)090-1899-2969 (E-mail)mimosa7.hiro@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者等への学びの場の提供 ■保護者等への地域の居場所づくり ■アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ■その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> <p><input type="checkbox"/>その他()</p>
②活動対象 (複数チェック可能)	<ul style="list-style-type: none"> ■乳幼児 ■小学生(低学年) ■小学生(中学年) ■小学生(高学年) <input type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>①朝活(ラジオ体操・朝ごはん・歯磨き・読書)毎週土・日 AM8:00～ 子どもたちの長期休業中は毎日開催</p> <p>②女性サロンの開催 乳児、小学生の子どもの母親を中心に、月1～2回サロンを開催。 子育て、仕事、生活に関する女性の不安に寄り添う居場所として活動</p> <p>③「アモーレ図書館」の開設 休日や子どもの長期休業中を中心に毎週水曜日 AM10:00～ 滋賀県教育委員会が推している「おうちで読書」の趣旨を生かした読み聞かせや読書タイムの設定</p> <p>④親子が共に楽しめる季節に応じた行事の開催 ひなまつり、子どもの日、七夕、夏まつり、サツマイモ掘り、栗拾い、クリスマス会、もちつき、節分、たけのこ掘りなど</p> <p>家庭教育は全ての教育の出発点であるという認識のもと、子育て家庭を中心にした家庭教育支援チームを立ち上げた。家庭教育支援は子育てに悩みや不安を抱えている保護者への学びの場の提供も大切であると考えた。とりわけ、地域における居場所づくりに力を入れた。スクールガードボランティアで毎日、不安げで笑顔のない母子登校、ひとり登校、給食前登校をみかける。新しくできたマンションが多く、行政の自治会組織がなく、人のつながりが薄い地域である。そこで「食べることを通して地域の子どもと大人とが顔見知りになり、さまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない関係をめざし、子ども食堂も立ち上げた。子どもたちが「子ども時代を幸せに生きる大切さ」を実感・体得できることをめざし、保護者や地域の方と取り組んできた。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>家庭教育支援チームの活動は、地域の幼児教育支援につながり、児童の健全育成につながる。</p> <p>① 食を共にすることにより、参加者同士の「おいしいね」「たのしいね」の言葉からつながりが深まった。まさに「食べることは生きること」になった。</p> <p>② 女性サロンの開催により、地域で孤立していた母親がひとりぼっちでないことを実感し、保護者や専門家(保健師、助産師、保育士等)とつながりあえることができ、笑顔が増えた。同時に子どもが笑顔になった。</p> <p>③ 家庭で本にふれることがなかった子どもたちが「アモーレ図書館」でたくさんの本に出会い市立図書館に通うようになった。テレビやゲームの時間が減った。美しい絵本にふれ、絵を描くことに興味をもった子どもがいる。</p> <p>④ 各種行事を開催することにより、スタッフの手伝いをしてくれる親子が増えてきた。地域のゴミ拾い、草引き、落ち葉拾い等、奉仕ができるようになった。</p> <p>⑤ ①～④を通して、子育て相談が増えた。</p>

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (滋賀県社会福祉協議会)</p>
------------------------------------	--